

鳥取県の生協

創立 55 周年記念版



「AERO (アエル) で笑顔に出会える」/
鳥取大学生協 21.04.02



グリーンコープとっとり 30 周年を祝う会 /
グリーンコープ生協とっとり 20.11.21



弓ヶ浜支部 大山まきばで健康ウォーキング /
米子医療生協 20.11.05



ささゆり リモート班会 /
鳥取医療生協 20.11.10



とどみのまきば COOP 虹の森交流会 /
鳥取県生協 20.11.07



7 才の交通安全 PJ 横断旗贈呈式 /
こくみん共済 COOP 鳥取推進本部



鳥取県生活協同組合連合会



1 生協間交流や連帯をすすめる取り組み



第26回せいきょうまつり in 米子 (2018.10.21/弓ヶ浜公園)

生協組員や県民のつどいの場、生協の事業活動の紹介やお取引との交流を深める場として定着しています。



県連50周年記念レセプション (2016.11.8/ホテルモナーク鳥取)

鳥取県連設立50周年記念レセプションが開催され、県知事はじめ、各界からのご臨席とご祝辞を頂きました。



(県知事との面談/2017.5.31)

核兵器禁止を求める団体・個人が集結し、「ヒバクシャ国際署名をすすめる鳥取県民の会」が発足しました(2017.5.24)。また県知事との面談で署名にサインを頂き、その後全市町村の首長も署名されています。



1967年から開始した「消費者大会」は、2021年度で55回目を迎えます。“物価・消費者問題・平和とくらし・食糧問題・環境、エネルギー、福祉や貧困”等、くらしに関わる身近なテーマを基に、賢い消費者育成に取り組んでいます。



鳥取医療生協から引き継いだ「虹の健康チャレンジ」活動は、地域における健康増進運動として、だれでも取り組めるコースの設定として工夫しています。このような取り組みが評価され、2018年には「第7回健康寿命をのばそう!アワード」厚労省健康局長優良賞を受賞しました。



健康増進と生協役職員の親睦を目的に、ボウリングを開催しています。6生協でのチーム編成と個人別により、優秀な成績には表彰を行っています。



県内協同組合の連帯・強化を目的に2008年に「県協同組合連絡協議会」を設立し、国際協同組合デーに合わせ「鳥取の集い」を開催しています。共通する課題の学習や研修会を開催しています。



コロナ禍で大学生の生活困窮状況が表面化する中、生協とJAが連帯し県内4大学の学生を対象に、米やCOOP商品等を届ける支援活動に取り組みました。

2 行政、諸団体との連帯・連携で持続可能社会を広げる取り組み



(訪問前ミーティング/鳥取医療生協)

鳥取県中部地震(16.10.21)発生直後から、電話や訪問による組合員の安否確認、避難所訪問による健康相談、片付けや炊き出しボランティア、災害時協定に基づく物資調達、義援金活動等献身的な取り組みが行われました。



(包括連携協定調印式/2016.10.31)

地域の安全・安心、県民サービス向上、地域活性化に寄与することを目的に、県と生協県連による「包括連携協定」を締結しました。協定連携事業を推進し、安心してくらし続けられる地域社会づくりをすすめています。

3 渉外・広報を強め、生協の事業活動や理解促進をすすめる取り組み



報道責任者との懇談会では、生協事業活動の紹介や地域課題等による意見交換を行っています。



県内消費者団体連絡会議では、各消費者団体の活動交流をすすめています。

会員生協の紹介



鳥取県生活協同組合



■出資金 21億 278万円(2021年3月31日現在)

■事業高(供給高) 73億4170万円(2020年度)

■事業所(主な施設)

- ・本部・商品センター ・支所4カ所(本部併設あり)
- ・ココステーション15カ所 など

◆設立経緯

国民の生活を根底から崩してしまった第2次世界大戦を経て、1950年、東部地域の労働者や住民の生活要求を実現したいとの思いから立ち上がった方々を中心に「鳥取県東部勤労者消費生活協同組合」が鳥取市で設立され、翌年からは鳥取市片原町で購買事業を開始しました。これが今に続く「鳥取県生活協同組合」のルーツです。

◆事業特徴

鳥取県全域をエリアとして、消費者(組合員)の立場にたった安全安心な食の供給事業を中心に、平和を求め暮らしを助け合う事業活動、組織活動を行う生協法人です。



活動内容

2020年度は、第8次中期計画の最終年となる5年目として、これまでの到達点と課題を踏まえながら、組合員はもとより県民や地域社会のよりよい暮らしの実現に向けて事業・活動をすすめてきました。子育て世代の応援企画「はじめてばこ」の取り組み、そして行政との連携では「子育て連携協定」が県内全ての市町村へ広がり、春・秋2回の仲間づくりキャンペーン達成や共済キャンペーンの計画達成にもつながりました。夕食宅配事業も、順調に利用食数を伸ばし計画・前年とも超過しています。

土日用の冷凍弁当やサイドメニューの企画充実などが行なえました。

創立70周年記念事業では、新しいシンボルマークの作成や記念商品のデビューなど組合員と共に喜べる企画に取り組みました。組合員活動においては、新型コロナウイルスによる活動の一時休止などを余儀なくされましたが、9月より活動を再開し持続可能な社会の実現を目指して取り組みました。

今後の抱負、ビジョン等

2030年ビジョン

ともに生きる ～笑顔と思いやりでつながり、夢があふれる「くらしの協同」を実現します～

- ビジョン1: 全ての世代が安心できるくらしづくり
- ビジョン2: 持続可能な社会づくり
- ビジョン3: 誰もが生き活きと輝く鳥取県生協づくり

2021年度は、昨年の第70回通常総代会にて確認された「鳥取県生協の2030年ビジョン」の実現に向けて、2021～23年の3か年の取り組み方針として「第9次中期方針」を掲げ、「ともに生きる」をテーマとした「笑顔と思いやりでつながり、夢があふれる「くらしの協同」」をすすめるための基盤づくりのスタートの年としていきます。

鳥取医療生活協同組合



■出資金 14億 415万円(2020年度期末)

■事業高 67億6933万円(2020年度決算)

■事業所(主な施設)

- 鳥取生協病院・鹿野温泉病院・わかさ生協診療所・せいきょう子どもクリニック・せいきょう歯科クリニック・せいきょう歯科クリニック鹿野・すえひろ診療所・訪問看護ステーションすずらん・組合本部
- (子会社) メディコープとっとり

◆設立経緯

鳥取医療生活協同組合は、鳥取大地震と敗戦による荒廃の下、多くの地域住民が貧困、困窮、不衛生な状態にさらされていた1951年に、「勤労者とその家族の健康を守りたい」という切実な願いから創設されました。生協法に基づき、初めから医療生協として出発した最初の生協法人として位置づけられています。

◆事業特徴

「いつでも、どこでも、だれでも、安心してよい医療と福祉を」を合言葉に「無差別平等」の視点で医療、介護事業を行っています。鳥取生協病院は、救急・急性期医療から、回復期、リハビリ、緩和ケア、在宅復帰を支援する地域包括ケア医療など、総合的な医療提供を行っています。鹿野温泉病院は、旧気高郡地域唯一の病院として、地域の一次医療と高齢者・慢性期医療の拠点として活動しています。わかさ診療所は、高齢化がすすむ若桜町の診療所として、外来、健診、在宅医療に取り組み、介護医療院での長期療養を担っています。子どもクリニックは、小児科専門診療所として、小児ぜんそくや感染症の治療、食物アレルギー治療などを行っています。また、親子の交流の場「ワイワイクラブ」を開催し、子育て世代を支援する取り組みを広げています。併設の病児保育「キッズルームこぐま」は、今年度から送迎サービスを開始し、利用者の利便性向上を図りました。すえひろ診療所、訪問看護ステーションすずらんは、在宅医療のニーズに応え、往診(訪問診療)・訪問看護・訪問リハビリテーションに取り組んでいます。鳥取と鹿野の歯科クリニックは、外来診療とともに病院や在宅との連携を強め、利用者の口腔の健康維持、増進に貢献しています。それぞれの事業所で、外来、入院医療だけでなく、健康診断、予防接種などに取り組んでいます。また、他の医療機関、介護施設、行政とも連携を取りながら、地域支部や班での健康づくり運動を広げ、高齢者が安心して住み続けられる人に優しいまちづくりを進めています。

また、すべての事業所で、経済的困難を抱えた方の窓口負担金を免除・減額できる「無料低額診療事業」にも取り組んでいます。

活動内容

県東部・中部地域に4万人組合員がいます。班会での健康チェックや健康増進体操、健診受診勧奨など、健康で長生きできる取り組み、なんでも相談員養成、ボランティア活動等の地域の助け合い活動に取り組んでいます。事業活動と地域組合員運動を統一して実践し、安心して暮らせるまちづくりに貢献します。

今後の抱負、ビジョン等

「人と人との協同の力で、健康で平和なまち、いのち輝くまち、鳥取をつくります」の理念にもとづき、地域でのつながりづくり、たまり場を軸にしたささえあい活動、健康づくりを広げます。事業活動では、鳥取、鹿野、わかさの3つのエリアで法人内外のネットワークづくりをすすめ、地域包括ケアシステム作りに挑戦します。

会員生協の紹介

55th anniversary

Introduction



米子医療生活協同組合



本部（本部事務局、健康増進部、訪問看護ステーションなないろ、居宅介護支援センター）

- 出資金 1億7350万円
- 事業高 4億9685万円
- 事業所（主な施設）
米子診療所・デイサービスたんぼぼ・おおたか診療所・訪問リハビリテーションピース・デイサービスおおたか・ヘルパーステーションおおたか・メディケアコートにじの里おおたか・弓ヶ浜診療所・デイサービス弓ヶ浜・訪問看護ステーションなないろ・居宅介護支援センター・組合員住宅さくら

◆設立経緯

終戦直後の民主運動の広がりの中で松江大衆診療所（1950年8月）、鳥取勤労者医療生協（1951年5月）など民主的医療機関が続々設立される中で、米子市を中心とした地域住民が、自らの診療所を持ちたいという要望と、民主的な医師と看護師の協力の中で、1953年4月に米子市角盤町に米子診療所が開設されました。初代所長に金森熙隆（かなもりひろたか）医師が就任しました。金森医師は出身地の斐川町に医療生協を設立するために帰郷しました。翌1954年10月に、鳥取医療生協から川西基次（かわにしもとつぐ）医師が二代目所長となり以後2009年5月に86歳で亡くなるまで、鳥取民医連や米子生活と健康を守る会を設立、法人の専務理事を務めるなど、米子医療生協の基礎作りと発展期まで尽力しました。

◆事業特徴

病院（病床）を持たない事業体の中で、多職種が連携して患者の生活をまるごと支える体制を整えるシステムを構築してきました。診療所の医師が中心となり、在宅医療、訪問リハビリ、通所介護、そして終の棲家（ついのすみか）である老人ホームを整備する「生協らしい地域包括ケア」をめざし、実践をすすめています。

活動内容

2020年春以降、コロナ禍で生業と生活が成り立たなくなった人が大勢、それも多岐にわたる職業に波及しています。医療福祉生協のそもそもの理念にもSDGsでめざす「誰ひとり取り残さない」社会の実現を掲げています。

2021年2月から、地域に「困りごとアンケート」を配布し、困窮している人に健康面でのサポートや生活保護などの公的支援に結びつけて生活の立て直しの支援をしています。

一方では格差拡大を助長する政治に対して、いのちが最優先される社会への転換を目指して共同の取り組みをすすめています。

今後の抱負、ビジョン等

米子医療生協の68年の歴史と到達点に立って、「在宅医療」「保健予防」「生活相談」を私たちの生協の特徴ある事業・運動の方向性としてすすめています。

未曾有の激動期にある今だからこそ、原点である「困難に寄り添い、協同の輪を広げる活動」をさらに展開していきます。

鳥取県共済生活協同組合（こくみん共済coop鳥取推進本部）



- 出資金 5億 9344万円(2021年5月末現在)
- 契約高総合(慶弔)共済 86億3904万円(2021年5月末現在)
- 事業所（主な施設）
鳥取県共済生活協同組合 鳥取県鳥取市扇町14
- 設立時期と事業内容
昭和32年5月設立
- ①組合員の生活の共済をはかる事業
- ②組合員および組合従業員の組合事業に関する知識の向上をはかる事業

活動内容

鳥取県共済生活協同組合

組合員相互の助け合いの基礎的な元受事業である「総合(慶弔)共済」の普及推進活動と「こくみん共済coop」の共済事業に関する普及宣伝活動

こくみん共済coop鳥取推進本部

- ①組合員の「万一のときの生活を守る」ための共済推進活動
- ②団体ニーズにあわせた保障の見直しの提案と離退職者への移行加入の推進活動
- ③生命から損害までのトータル保障の見直し活動による個別相談の展開
- ④保障の見直し活動としての「保障設計運動」の展開と、多発している自然災害に備える「防災・減災の啓発活動」の展開
- ⑤社会的な課題「こども健全育成プロジェクト」の取り組みとして、未来あるこどもたちを守る社会貢献活動「7才の交通安全プロジェクト(横断旗の寄贈)」、「こども成長応援プロジェクト(なわとびの寄贈)」の取り組み
- ⑥小学生を中心に「こどもたちにとっての自立の発達」を目指すキャリア教育の一環としての「防災」をテーマとした大規模災害時に自分自身を守るための学習会の展開



今後の抱負、ビジョン等



- ①組合員、協力団体のニーズに応える安心の商品・サービスを提供し、より一層身近な存在として「寄り添う」関係を強化し、「お役立ち」と「共創」をテーマにして事業の拡大・運動を展開していきます。
- ②SDGsなど様々な社会課題への取り組みを実施し、協同組合組織としての真価の発揮と組合員との共創活動へつなげていきます。
- ③組合員・協力団体にあったコミュニケーションをすすめるために、組合員を起点として組合員との「深く」「長い」関係づくりをすすめ、「広く」事業と運動を発展させます。



鳥取大学生協同組合



- 出資金 9,552万円
- 事業高 8億6,025万円
- 事業所（主な施設）
 - 鳥取大学構内【鳥取キャンパス】
 - ショップ・カフェテリアマーレ
 - ・アエル&アエルミー
 - ・ベーカリーカフェセルリア・本部
 - 【米子キャンパス】
 - 医学部ショップ・医学部食堂

◆設立経緯

大学構成員が自らの手でより良いキャンパスライフと学内の福利厚生向上を願い1989年12月設立。鳥大生として同じサービスを受けたいという医大生の声により、2006年3月米子キャンパスに医学部店を開店。

◆事業特徴

学生・教職員に必要な物資やサービスを提供するショップ部門と日常の食を支える食堂部門がメイン。その他学生の学びと成長を支える各種講座や、様々な体験のできるサポート事業なども実施。モノだけでなく、コトの価値を高める事業活動を目指しています。

活動内容

学生委員会とともに共済・環境・平和・広報・店舗など、多岐にわたる活動を実施しています。

学び体験する「コト」を通じて「モノ」の価値を高め、入学前の準備から就職支援まで、あらゆるサポートをおこなっています。

コロナ禍の中でも「食」と「学び」を止めない取り組みとして、ミールカードの普及とオンラインを活用した「英語コミュニケーション講座」「Surface 活用講座」「ipad 講座」「公務員試験対策講座」を実施しています。



今後の抱負、ビジョン等



コロナ禍ではありますが、事業や活動を通して逆境に負けない学生の「自立（律）」を促進していきたいと考えています。

学生どうしのつながりが希薄化（入学後の友達0人が1割超）する中で、新システム改修もおこない、人と人、そして生協とつながり続ける仕組みも構築していきます。

グリーンコープ生活協同組合とっとり



- 出資金 2億9280万円（2020年度末）
- 事業高 8億1774万円（2020年度実績）
- 事業所（主な施設）
 - 本部・配送センター（鳥取県米子市観音寺新町3丁目5-5）
 - キープ&ショップ「げんきくんの店 西福原」（鳥取県米子市西福原5丁目7-13）

◆設立経緯

1990年に前身生協の県民生活協同組合クローヴァとして『暮らし・健康・環境』を基本に組合員主体の生協を目指し設立しました。「安心・安全な社会を未来の子どもたちに手渡したい」と願い、子どもたちが安心して食べられる食品、日本の農業を守るための産直、環境を守っていくための石けんを大切に活動に取り組み、2002年には想いを同じくするグリーンコープの仲間になりました。子どもたちの未来にも想いを馳せ、平和な社会、安心・安全な社会を願い、四つの共生（自然と人、人と人、女と男、南と北）を理念にして、暮らしに寄り添った活動を続けています。

◆事業特徴

子どもたちが健やかに成長できるように、家族が健康で安心して暮らしていけるように、というお母さんの願いを叶えるために、安心・安全な食べものを生産者と一緒につくって、組合員へ供給しています。

商品のこだわり

- ・生産者と手をつないでいきます。
- ・日本の農業を守り、食料自給率の向上を目指します。
- ・手作りを大切に、多様化に応じていきます。
- ・食品添加物の点検を徹底します。
- ・残留放射能の検査を実施し状況に対応して行きます。
- ・プラスチック包材を減らします。（環境ホルモンが溶出しにくい包材に切り替えています）
- ・リフューズ（断る）、リデュース（減らす）、リユース（再使用する）、リサイクル（再生利用する）に取り組み、貴重な自然と資源を大切にしていきます。他にも生命（いのち）を大切にしたい取り組みとして、石けん運動、遺伝子組換えへの反対、原発の問題を考えた市民エネルギー、民衆交易などへも取り組んでいます。

活動内容

毎日食べるものだからこそ、一つひとつにこだわりを込めた商品をお組合員にお届けしています。そのこだわりをグリーンコープに集う母親たちが育んで、食べ物だけでなく、環境にも配慮した取り組みを続けています。すべての生命（いのち）に寄り添い、助け合い、支え合う地域をめざして、被災地の支援活動にも取り組んでいます。

今後の抱負、ビジョン等

これからも設立当初からの願いと想いに発した運動と事業を大切に継続します。近年では世界各地での異常気象、地球環境自体の変化から、日本でも世界的にも未曾有の災害が毎年のように起こっています。同時に人間社会においても格差などの問題が起こっています。そして、その危機感からSDGs（持続可能な開発目標）が世界中で叫ばれる世の中になっています。そのような社会と地域に向き合い、生協として組合員とともに持続可能な社会と地域の実現に向け、21年度には『こども基金』を立ち上げて子どもたちへの具体的な支援にも踏み込みます。その他の地域福祉についても具体的な検討を始めています。

生協の歴史・歴代役員・会員の概況

55th anniversary



鳥取県生協連 2016～2020 年度沿革

年	生協のあゆみ	社会の出来事
2016	県連創立50周年を記念し、「記念誌」発行、「怒る富士」の公演、記念式典等を開催	4月 「熊本地震」震度7が2回発生 5月 オバマ米大統領が広島訪問 10月21日、「鳥取県中部地震」が発生
	2016年10月31日、知事公邸にて県連、会員生協と県が「包括連携協定」を締結	
	全国から中部地震への義援金2689万1316円を県に届ける	
2017	第2回生協親睦ボウリング大会が開催	「ヒバクシャ国際署名をすすめる鳥取県民の会」発足 県と全市町村の首長がヒバクシャ国際署名にサイン
	第51回消費者大会は「貧困」をテーマに藤田孝典氏が講演	
	「とっとり虹の健康コース」は学校等に広がり、5,307名が参加	
2018	米子弓ヶ浜にて第26回せいきょうまつりを開催し、5,000名以上が来場	木戸季市氏(被団協事務局長)を迎え、平和講演会が開催 「とっとり地域自治研究所」が設立 西日本7月豪雨、北海道胆振東部地震が発生
	「とっとり虹の健康コース」が厚労省健康局長優良賞を受賞	
	生協法制定70周年にあたり、県連が厚生労働大臣表彰を受賞	
2019	第27回せいきょうまつりは台風17号の影響で中止	台風19号で、千曲川の堤防決壊等大きな被害に 10月 消費増税10%がスタート
	第29回国際協同組合デー鳥取集いで、県生協も参加する「子ども食堂」の取り組みが紹介	
	SDGsをテーマに「地方消費者フォーラム」が鳥取で開催	
2020	新型コロナウイルスにより、生協でも事業経営の悪化や活動自粛等に大きく影響	新型コロナウイルスによるパンデミックにより、世界中で感染者や死者等多くの犠牲者 「労働者協同組合法」が成立(2020.12.4) 「核兵器禁止条約」が発効(2021.1.22)
	「虹の健康チャレンジ」の取組みで、過去最高の5,420名が参加	
	生協とJAが連携し、県内330名の大学生に物資を支援	

鳥取県消費者大会の歴史 (2017年～2020年)

大会名	開催日程	会場	テーマ・内容	構成団体	備考
第50回	2017年 2月24日(金)	倉吉交流プラザ 視聴覚ホール	「実例で学ぶおもしろ法律講座 講師/角田龍平弁護士 ～高齢者・消費者トラブルの窓口と対策～ 消費者啓発寸劇、消費者被害状況報告	中国労金、新婦人、母親連絡会、 生協連合会	80名 中部地区で 初めての開催
第51回	2018年 3月10日(土)	県立武道館2F 会議室	「広がる貧困社会～安心して暮らせる社会を どうつくるか～講師/藤田孝典(NPO法人 ほっとプラス代表理事) 活動報告/県生協 くらしサポート窓口、鳥取医療生協	中国労金、新婦人、母親連絡会、 生協連合会	80名
第52回	2019年 3月9日(土)	さざんか会館 大会議室	「生存可能社会に向けた社会の変革」 講師/内藤正明(琵琶湖環境研究センター長) 報告/グリーンコープ生協とっとり、(株)と っとり市民電力	県消費者団体 連絡会	70名
第53回	2020年 3月15日(日)	倉吉未来中心 セミナー3	「オーラルフレイル予防と健康づくり」 講師/中澤桂一郎(日本医療福祉生協連合会 理事) 新型コロナ感染予防のため、中止	県消費者団体 連絡会	中止 (コロナ影響)
第54回	2021年 3月13日(土)	倉吉未来中心 セミナー3	「新型コロナウイルス感染症禍中で食料問題 を考える」講師/小林一(放送大学鳥取学 習センター所長)「大山こむぎPJストーリー」 笠谷信明(大山こむぎPJ代表)	県消費者団体 連絡会	44名 (参加者限定)

鳥取県せいきょうまつりの歴史 (2016年～2021年)

	開催日程	天候	会場	テーマ・他	ステージ・企画	協賛数	来場者数
第24回	2016.10.23		布勢運動公園	鳥取県中部地震(10.21)の影響 で中止			
第25回	2017.10.22	雨、強風	布勢運動公園	社会と未来への思いやり COOPとともに	きなんせ体操(鳥取医療生協)、 エンカルクイズ(県消費生活セン ター)、バルーンアート、台風21 号により午前で終了	81	2,500
第26回	2018.10.21	晴天	弓ヶ浜公園、 芝生広場	社会と未来への思いやり COOPとともに	ゴスペルオーブ、境港荒神神楽太 鼓、ハッピーズ、でこぼこ、コッ シー、県生協有志、ユニセフ協会、 フードライブ	87	5,000
第27回	2019.9.22	台風接近	倉吉パーク スクエア ふれあい広場	台風17号接近の 影響を考慮し、中止			
第28回	2020.11.15		倉吉 大御堂廃寺跡	新型コロナ感染症予防により 中止			
第29回	2021.10.24		倉吉 大御堂廃寺跡	新型コロナ感染症予防により 中止			

鳥取県生協連合会 歴代役員 (第27期～29期)

《第27期》(2016年～2017年)

会長	松軒 浩史 員外
常務理事	池成 福己 鳥取医療生協
常務理事	浜江 隆二 鳥取県生協
理事	田中 文也 米子医療生協
	向 由美子 鳥取県生協
	渡辺 宏明 グリーンコープとっとり
	加納 史吹 鳥取大学生協
	木岡 繁尾 鳥取県共済生協
監事	* 永原 孝一 鳥取医療生協
	* 野坂 和寿 鳥取県共済生協
	*新しく就任 ※《退任》岡本 悟、林 憲治

《第28期》(2018年～2019年)

会長	松軒 浩史 員外
常務理事	池成 福己 鳥取医療生協
常務理事	浜江 隆二 鳥取県生協
理事	田中 文也 米子医療生協
	向 由美子 鳥取県生協
	渡辺 宏明 グリーンコープとっとり
	加納 史吹 鳥取大学生協
	* 本内 隆彦 鳥取県共済生協
	* 加藤 公司 米子医療生協
監事	永原 孝一 鳥取医療生協
	* 深田 真市 鳥取県共済生協
	*新しく就任 ※《退任》木岡 繁尾、田中文也、野坂和寿

《第29期》(2020年～2021年)

会長	松軒 浩史 員外
常務理事	池成 福己 鳥取医療生協
常務理事	* 井上 約 鳥取県生協
理事	* 高倉 美香 鳥取県生協
	渡辺 宏明 グリーンコープとっとり
	加納 史吹 鳥取大学生協
	加藤 公司 米子医療生協
	本内 隆彦 鳥取県共済生協
監事	米田 成利 鳥取医療生協
	森本 公司 こくみん共済 COOP
	*新しく就任 ※《退任》向由美子、浜江隆二



鳥取県連・会員生協の概況

(2021年3月末数値)

組 合 名	主たる事業所の所在地	代 表 者	設立登記	組合員数(人)	出資金額(万円)
鳥取県生活協同組合連合会	鳥取市河原町布袋 597-1	会長 松軒 浩史	昭 42.2.22	6 組合	107
鳥取県生活協同組合	鳥取市河原町布袋 597-1	理事長 井上 約	昭 26.3.30	62,474	210,278
こくみん共済 COOP 鳥取推進本部	鳥取市扇町 14	本部長 松崎 浩哉	昭 33.3.24	101,362	59,344
鳥取医療生活協同組合	鳥取市永楽温泉町 203	組合長理事 竹内 勤	昭 26.9.11	41,711	140,415
米子医療生活協同組合	米子市博労町 3-80-1	理事長 梶野 大	昭 28.6.12	6,606	17,350
グリーンコープ 生活協同組合とっとり	米子市観音寺新町 3-5-5	理事長 林 美恵	平 2.8.10	5,119	29,280
鳥取大学生生活協同組合	鳥取市湖山町南 4 丁目 101	理事長 太田 隆夫	平 2.2.9	6,538	9,552



鳥取県生活協同組合連合会創立55周年記念誌

発効日 2021年11月

発行者 鳥取県生活協同組合連合会

〒680-1202 鳥取市河原町布袋 597 番地 1